

宿泊約款

(適用範囲)

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による。)
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは契約の成立後、同項の申込金の支払いを要しないこ

ととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

- 第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成4年3月1日施行)による指定暴力団および指定暴力団員等(以下「暴力団」および「暴力団員」とする)またはその関係者、その他反社会的勢力であるとき。
 - (5) 宿泊しようとする者が暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であるとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が法人で、その役員のうちに暴力団員に該当する者がいるとき。
 - (7) 宿泊しようとする者が他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (8) 宿泊しようとする者が宿泊施設もしくは宿泊施設職員(従業員)に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行ない、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、またはかつて同様な行為を行なったと認められるとき。
 - (9) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (10) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (11) 宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。(東京都条例)

(宿泊客の契約解除権)

- 第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条

第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるにあつて、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になつても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (3) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (4) 宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。(東京都条例)
- (5) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成4年3月1日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等(以下「暴力団」及び「暴力団員」とする)またはその関係者、その他反社会勢力であるとき。
- (6) 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であるとき。
- (7) 法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があるとき。
- (8) 他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (9) 宿泊施設もしくは宿泊施設職員(従業員)に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、またかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
- (10) 当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。

(11) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。

2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだに提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、年令、性別、住所及び職業
- (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
- (3) 出発日及び出発予定時刻
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は15:00から翌日の12:00までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 超過3時間までは、室料金の3分の1
 - (2) 超過6時間までは、室料金の2分の1
 - (3) 超過6時間以上は、室料金の全額

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に提示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は別表第3に掲げるとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の提示、客室内のサービスディレクター等で御案内いたします。

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

- 第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、フロントキャッシャーにおいて行っていただきます。
 - 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

- 第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊者に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

- 第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

- 第15条 宿泊客がフロントキャッシャーにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。
- 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントキャッシャーにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き30万円を限度としてその損害を賠償

します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

- 第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。
- 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊者の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
 - 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

- 第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

- 第18条 宿泊者の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1 宿泊料金等の算定方法(第2条第1項、第3条第2項及び第12条第1項関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	・ 基本宿泊料・室料 (サービス料込み)
	追加料金	・ 飲食及びその他の利用料金 ・ サービス料:(夕食又は宴席の際に頂戴します)
	税金	・ 消費税 ・ 宿泊税: 宿泊料金 1人1泊 1万円未満の宿泊 免除 1万円以上1万5千円未満の宿泊 100円 1万5千円以上の宿泊 200円

別表第2 違約金(第6条第2項関係)

	不泊	当日	前日	9日前
14名まで	100%	80%	20%	—
15名以上	100%	80%	20%	10%

1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数に関わりなく、1日分(初日)の違約金を收受します。
3. 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申し込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金は頂きません。

別表第3 営業時間(第11条第1項関係)

(1) フロント・キャッシャー等サービス時間	
イ. 門限	なし
ロ. フロントサービス	24時間
ハ. エクスチェンジサービス	24時間
(2) 飲食等(施設)サービス時間	
イ. 朝食(ラ・コリンヌ)	07:00~10:00
ロ. 昼食(ラ・コリンヌ)	火曜~金曜 11:30~15:00 (ラストオーダー14:00) 土曜・日曜・祝日 12:00~15:30 (ラストオーダー14:00) ※月曜定休 (祝日の場合は翌日振替休)
ハ. 夕食(ラ・コリンヌ)	18:00~22:30 (ラストオーダー20:00) ※月曜定休 (祝日の場合は翌日振替休)
ニ. その他の飲食等	
(オントレ・アー)	火曜~土曜 17:00~23:30 (ラストオーダー 料理 22:00 飲物 23:00) 日曜・祝日 17:00~23:00 (ラストオーダー 料理 21:00 飲物 22:00) ※月曜定休 (祝日の場合は翌日振替休)
(ティールラウンジ)	10:00~18:00 (ラストオーダー17:30)
(ルームサービス)	12:00~21:00 ※月曜定休 (祝日の場合は翌日振替休)
(3) 附帯施設サービス時間:	
イ. エステサロン ヴィー・リトリート	受付 11:00~19:30 ※木曜定休
ロ. パティスリー ル・コワンヴェール	10:30~19:00 ※月曜定休 (祝日の場合は翌日振替休)

利用規則

アグネス ホテル アンド アパートメンツ 東京ではお客様が安全かつ快適にお過ごしいただくため、宿泊約款第 10 条に基づいて、次のとおり利用規則を定めておりますのでお守りください。この規則をお守りいただけない場合には、宿泊約款第 7 条により、やむを得ずご宿泊およびホテル内諸施設のご利用をお断り申しあげることもございます。また事故がおきた場合には、お客様に損害のご負担をいただくこともありますので、特にご留意くださいますようお願い申しあげます。

(客室のご利用について)

- 第 1 条 客室からの避難経路図は客室入口ドアの裏側に提示してありますので、ご確認ください。
- ご宿泊登録者以外の方のご宿泊はご遠慮ください。
 - 長期のご宿泊利用により、居住に関する法律上の権利が発生するものではないことをご了承ください。
 - 未成年者のみのご宿泊は、保護者の許可のない限りお断りいたします。また心身耗弱、薬物、飲酒等により理性を失うなどして、他のお客様に迷惑と不安をおよぼすご利用者もご遠慮ください。

(部屋の鍵)

- 第 2 条 ご滞在中お部屋からお出になるときは、施錠をご確認ください。
- ホテル内のレストラン・バーをご利用のとき、会計伝票にご署名の場合は、お部屋の鍵をご提示ください。
 - ご在室およびご就寝の際は、必ずドアの「かけがね」をおかけください。
 - お部屋の鍵は、当ホテルをご出発のとき必ずフロントにご返却ください。紛失などによりご返却のないときは、鍵代金の実費をお支払いいただきます。

(来訪者)

- 第 3 条 ご訪問者とのご面会はロビーでお願いします。
- ドアをロックされた時は「かけがね」をかけたままドアを開けるか、ドアスコープでご確認ください。なお不審者と思われる場合はゲストサービス(ダイヤル 2)にご連絡ください。

(客室内)

- 第 4 条 客室内および廊下では、ホテルの許可なく火気をご使用にならないでください。客室内でのキャンドル等は堅くお断りいたします。
- 火災になりやすい場所、特にベッドの上での喫煙はご遠慮ください。
 - ホテルの許可なく客室を営業行為・事務所・パーティ等、宿泊以外の目的にご使用にならないでください。
 - ホテルの許可なく客室内の備品を移動したり、また客室内に造作を施し、あるいは改造したりしないでく

ださい。

- 客室内の小物備品は、客室外に持ち出さないでください。
- ホテルの外観を損うようなものを窓側におかないでください。

(貴重品)

- 第 5 条 ご滞在中は現金、有価証券、貴金属その他貴重品の保管については、客室内に備えつけの金庫をご利用ください。

(預り物)

- 第 6 条 お預り物の保管期間は、原則お預りの日から 3 ヶ月とさせていただきます。保管期間を経過したお預り物は、法令に基づきお引き取りの意志がないものとして処理いたします。

(遺失物)

- 第 7 条 お忘れ物、拾得物の処置は法令に基づいてお取り扱いさせていただきます。

(駐車場のご利用)

- 第 8 条 駐車中の車内に貴重品およびその他の物品を留置しないでください。駐車中における紛失・盗難等については、その責任を負いかねます。
- 駐車場ご利用時は、フロントまでお申し出いただき、駐車証をお受け取りください。
 - ホテルの係員による車の代行移動はいたしかねますのでご了承ください。
 - そのほか当ホテル係員の誘導および指示に従ってください。

(お会計)

- 第 9 条 ご利用代金のお支払いは、現金またはご利用券、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等、もしくは当ホテルが認めたそれに代るものとさせていただきます。
- ご到着時にお預り金を申し受けることがございますので、あらかじめご了承ください。
 - ご滞在中でも料金のご精算をお願いする場合がありますので、そのつどお支払いをお願いいたします。

なお当ホテルが請求してもお支払いがない場合は、お部屋を明け渡していただくこともございます。

4. ご宿泊者以外の方から料金のお支払いを受けることになっている場合でも、定められた期日までにお支払いがなければ、ご宿泊者ご本人に直接お支払いをご請求申しあげます。
5. ホテル外のお買い物のお立て替えはいたしておりませんので、ご了承ください。
6. 客室内の電話をご利用になるとき、施設使用料が加算されますのでご了承ください。
7. お心付けなどをご辞退申しあげます。

(禁止行為)

第10条 ホテル内ではほかのお客さまのご迷惑になる下記の持ち込みまたは行為はご遠慮ください。

- (1) 犬・猫・小鳥そのほかの愛玩動物。
- (2) 発火または引火性のもの。
- (3) 悪臭・害毒を発するもの。
- (4) そのほか法令で所持を禁じられているもの。
- (5) とばく・威圧的な言動・風紀を乱すような行為、またはほかのお客さまに嫌悪感を与え、もしくは迷惑になるような行為(騒音なども含む)および言動。
- (6) ゆかた、スリッパ等で客室外に出ること。
- (7) 備付け品の移動または使用目的以外のご利用。
- (8) 広告、宣伝物の配布、物品の販売、勧誘など。

(省資源)

第11条 資源を大切に使うため、節電・節水にご協力をお願いいたします。

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

(Scope of Application)

Article 1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guests to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and / or generally accepted practices.

2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

(Application for Accommodation Contracts)

Article 2 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of the Guest (s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1);
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc)

Article 3 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total

Accommodation Charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4. When the guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contracts as invalid. However, the same shall apply only in the case where the guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposits)

Article 4 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and / or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding paragraph.

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5 The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- (4) When the guest seeking accommodation is a member of an organized crime group designated under "the Law on the Prevention of Irregularities by Gangsters" or any person related to such a gang or any other anti-social forces;

- (5) When the Guest seeking accommodation is a corporate entity or other group the business activities of which are controlled by an organized crime group or such gangsters;
- (6) When the guest seeking accommodation is a corporate entity any director of which is regarded to be a member of a gang;
- (7) When the Guest seeking accommodation has made any conducts which would cause significant inconveniences to other accommodating guests;
- (8) When the Guest seeking accommodation has demanded, to accommodation facilities or accommodation facilities staff (employees), overbearing unjust acts such as violence, threat or blackmail, or has requested the Hotel to assume an unreasonable burden, or has proven to have made a similar conduct in the past;
- (9) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (10) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and / or other causes;
- (11) When it is feared that the person desiring the accommodation, being in a state of intoxication, may disturb other guests of this hotel. When the person behaves in a manner which gives disturbance to other guests (The Tokyo Metropolitan Ordinance)

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the hotel.

2. In the case when the guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribe in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the guest.
3. In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of

the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

Article 7 The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation;
- (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (3) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
- (4) When it is feared that the person desiring the accommodation being in a state of intoxication, may disturb other guests of this Hotel. When the person behaves in a manner which gives disturbance to other guests (The Tokyo Metropolitan Ordinance);
- (5) When the Guest has proven to be a member of an organized crime group designated under “the Law on the Prevention of Irregularities by Gangsters” or any person related to such a gang or any other anti-social forces;
- (6) When the Guest has proven to be a member of a corporate entity or other group the business activities of which are controlled by an organized crime group or such gangsters;
- (7) When the Guest has proven to be a member of corporate entity any director of which is regarded to be a member of a gang;
- (8) When the Guest has made any conducts which would cause significant inconveniences to other accommodating guests;
- (9) When the Guest has demanded, to accommodation facilities or accommodation facilities staff (employees), overbearing unjust acts such as violence, threat or blackmail, or has requested the Hotel to assume an unreasonable burden, or has proven to have made a similar conduct in the past;
- (10) When the guest has not followed “the Terms and

Conditions for Accommodation Contracts” provided by the Hotel;

- (11) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).
2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

(Registration)

Article 8 The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest (s);
- (2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
- (3) Date and estimated time of departure; and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00p.m. to 12:00p.m. the next day. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the previous prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - (1) Up to 3 hours: one third of the room charge
 - (2) Up to 6 hours: one half of the room charge
 - (3) More than 6 hours: room charge in full

(Observance of Use Regulations)

Article 10 The Guest shall observe the Use Regulation established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

(Business Hours)

Article 11 The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as listed in the Attached Table No. 3 and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, and notice displayed in each place service directories in guest rooms and others.

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12 The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's checks, coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front cashier's desk at the time of the departure of the Guest or coupon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.

(Liabilities of the Hotel)

Article 13 The Hotel shall compensate the guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. Even though the Hotel has received the "PASS MARK" (Certificate of excellence of Fire Prevention Standard Issued by the fire station), the Hotel is, furthermore, covered by Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling When Unable to Provide Contracted Rooms)

Article 14 The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same

standard else-where for the guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15 The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front cashier's desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into premises of the Hotels by the Guest but are not deposited at the front cashier's desk. However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 300,000 yen, except in case where loss or damage was caused intentionally or by gross negligence on the part of the Hotel.

(Custody of Baggage and/or Belonging of the Guest)

Article 16 When the baggage of the guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his/her check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7days including the day it has been found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the

Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

(Liability in Regard to Parking)

Article 17 The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilize the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regard that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 18 The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1 Calculation Method for Accommodation Charges, etc.
(Ref. Paragraph 1 of Article 2, Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of Article 12)

		Contents							
Total Amount to be paid by the guest	Accommodation Charges	<ul style="list-style-type: none"> Basic Accommodation Charges (Including Service Charges) 							
	Extra Charges	<ul style="list-style-type: none"> Meals & Drinks and Other Expense Service Charge (Dinner or Banquet Use Only) 							
	Tax Calculation	<ul style="list-style-type: none"> Consumption Tax Accommodation Tax: <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>Accommodation Charge: (per person, per night)</th> <th>Accommodation Tax: (per person, per night)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Less than ¥10,000</td> <td>Tax-free</td> </tr> <tr> <td>Between ¥10,000 and 14,999</td> <td>¥100</td> </tr> <tr> <td>¥15,000 or more</td> <td>¥200</td> </tr> </tbody> </table> 	Accommodation Charge: (per person, per night)	Accommodation Tax: (per person, per night)	Less than ¥10,000	Tax-free	Between ¥10,000 and 14,999	¥100	¥15,000 or more
Accommodation Charge: (per person, per night)	Accommodation Tax: (per person, per night)								
Less than ¥10,000	Tax-free								
Between ¥10,000 and 14,999	¥100								
¥15,000 or more	¥200								

Attached Table No.2 Cancellation Charge for Hotels (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

	Individual 1 to 14	Individual 15 and more
No Show	100%	100%
Accommodation Date	80%	80%
1 Day Prior to Accommodation Date	20%	20%
9 Days Prior to Accommodation Date	-	10%

Remarks;

- The percentage signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
- When the number of days contracted is shortened, cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
- When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (When accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number.

Attached Table No.3 Business Hours (Ref. Paragraph 1 of Article 11)

(1) Service hours of front desk, cashier's desk, etc.		
A.	Closing Time:	Open 24 hours at the entrance of this building
B.	Front Service:	Open 24 hours
C.	Exchange Service:	Open 24 hours
(2) Service hours (at facilities) for dining, drinking, etc.		
A.	Breakfast (La Colline):	07:00-10:00
B.	Lunch (La Colline):	Tuesday-Friday 11:30-15:00 (L.O. 14:00) Saturday, Sunday and National Holiday 12:00-15:30 (L.O. 14:00) Closed: Mondays (if a Monday is a national holiday, then the next day)
C.	Dinner (La Colline):	18:00-22:30 (L.O. 20:00) Closed: Mondays (if a Monday is a national holiday, then the next day)
D.	Other meals, drinks and etc.	
	(Entrée A):	Tuesday- Saturday 17:00-23:30 (L.O. Food/22:00 Drink/23:00) Sunday and National Holiday 17:00-23:00 (L.O. Food/21:00 Drink/22:00) Closed: Mondays (if a Monday is a national holiday, then the next day)
	(Tea Lounge):	10:00-18:00 (L.O. 17:30)
	(Room Service):	12:00-21:00 Closed: Mondays (if a Monday is a national holiday, then the next day)
(3) Service hours of auxiliary facilities		
A.	Esthetic Salon (Vie Retreat):	Reservation acceptance time: 11:00-19:30 Closed: Thursdays
B.	Patisserie (Le Coin Vert):	10:30-19:00 Closed: Mondays (if a Monday is a national holiday, then the next day)

House Regulations

To ensure our Guests a safe and pleasant stay, the Agnes Hotel and Apartments Tokyo has established the following House Regulations in accordance with Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts. In the event a Guest fails to observe these House Regulations, the Agnes Hotel and Apartments Tokyo may choose not to permit further use by the Guest of the Guest's Hotel room and other facilities in the Hotel, pursuant to Article 7 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts. Guests may be held liable for damage in the event of an accident arising from neglect of these regulations.

(Use of Guest Rooms)

Article 1 Please see the inside of your guest room door for a map of emergency escape routes from your room.

- Persons not registered for accommodation must refrain from staying overnight in the Guest's Hotel room.
- Please understand that an extended stay in the Hotel does not engender legal rights relating to residency.
- The Hotel may refuse accommodations to minors accompanied by parents, relatives or other legal guidance, or unless written permission is received from parents or guardians permitting such stays. The Hotel may also refuse accommodation to persons who lack the capacity to reason due to mental impairment or temporary disturbance, or who are deemed to potentially affect the safety and comfort of other Guests in the Hotel.

(Guest Room Keys)

Article 2 When leaving your room, please make sure the door is locked.

- When signing for bills at the Hotel restaurants and bar, please show your room key.
- Please use the door latch whenever you are in your room.
- When checking out of the Hotel, please be sure to return your room key to the Front Desk. In the case of losing your room key, the Hotel may charge you a room key fee.

(Visitors)

Article 3 Please receive your visitors in the Lobby during night time.

- Please answer a knock at the door with the door latch attached or after checking through the peephole. Notify the Guest Service (Dial 2) of any suspicious persons.

(Guest Rooms)

Article 4 Please do not use inflammables for heating, candles, etc., in the guest room or the corridors without the consent of the Hotel.

- Please refrain from smoking in places that may easily catch fire, especially in bed.
- Please do not use guest rooms for business activities or private parties, as offices or for any purposes other than accommodation use, without the consent of the Hotel.
- Please do not rearrange guest room furnishings, or install or remodel the room's fixtures, without the consent of the Hotel.
- Please do not remove small furnishings or items from the guest rooms.
- Please do not place in the window items that may detract from the appearance of the Hotel.

(Valuables)

Article 5 Please deposit your cash, securities, jewelry and other valuables in a safety deposit box available in the room.

(Unclaimed Articles)

Article 6 Unclaimed articles shall be held for 3 months. Articles which remain unclaimed for over 3 months shall be treated, in accordance with the law, as items the owner has no interest in receiving.

(Lost and Found)

Article 7 Any item that is found shall be treated based on laws and ordinances.

(Use of the Parking Lot)

Article 8 Please do not leave any valuables or other items inside your car while it is parked. The Hotel does not accept responsibility for the loss or theft of any such articles while your car is parked.

- Please notify the Front Desk to receive a Parking Permission Slip when you use the Hotel parking lot.
- Please understand that the Hotel staff may not move your car on your behalf.
- Please observe the additional management regulations of the Hotel parking lot.

(Payment)

Article 9 Payment of charges incurred during use of the Hotel shall be settled with cash, coupons, traveler's checks, accommodation certificates, credit cards or a means accepted by the Hotel in place of such.

- 2 Please understand that a deposit may be requested upon your arrival at the Hotel.
- 3 You may be requested to settle your account at some point during your stay. If so, please make your payment at that time. A Guest failing to make payment when requested by the Hotel may be required to vacate his or her room.
- 4 In circumstances where a party other than the staying guest is to make payment for charges incurred by the Guest and payment is not made by the determined date, the Hotel shall request payment directly from the Guest.
- 5 Please understand that the Hotel does not advance money on purchases made at shops outside of the Hotel.
- 6 Please understand that equipment-usage fees are calculated for the use of telephones in the guest rooms.
- 7 Since, a 10% service charge is added to your bill in addition to taxes required by law, it is our policy to decline tips and other gratuities.

(Prohibited Matter)

Article 10 Please refrain from such activity as described below that may cause a nuisance to other guests of the Hotel.

- (1) Bringing dogs, cats, birds or other animals or pets into the Hotel.
- (2) Bringing explosives or inflammable substances into the Hotel.
- (3) Bringing potentially noxious or harmful substances into the Hotel.
- (4) Bringing into the Hotel any other items which possession of is prohibited by law.
- (5) Gambling, coercive, speech or conduct, behavior corrupting of public morals, or behavior, speech or conduct (including loud noises) that other guests may find abhorrent or that may cause a nuisance to other guests.
- (6) Leaving your guest room attired in pajama, slippers and the like.
- (7) Rearrangement of hotel furnishings or their use for other than their intended purpose.
- (8) Distribution of advertising or publicity literature, sales of goods, soliciting or other such activity within the Hotel.

(Resource Saving)

Article 11 Please cooperate with economies of electricity and water for the preservation of natural resources.

